

証券コード：4733

株式会社 オービックビジネスコンサルタント



第34期 平成24年4月1日～平成25年3月31日

特集

OBCの理念、製品、
そして、サービス。



ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「勘定奉行」をはじめ、
企業に必要な基幹業務システム「奉行シリーズ」の
開発、販売および保守・導入指導等を行っているパッケージソフトウェアメーカーです。

「奉行シリーズ」の製品・サービスの特長

1 中堅・中小企業および
企業業務にフォーカス

2 お客様の企業規模に
最適な製品ラインナップ

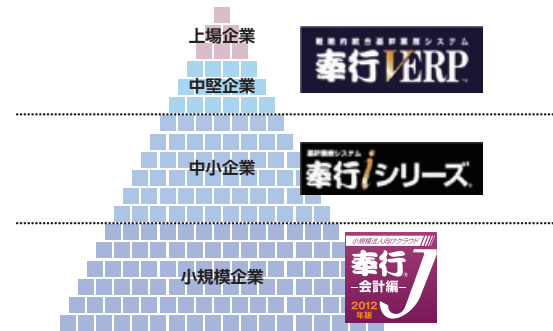
3 経験豊富なパートナーネット
ワークによる最高の支援

4 顧客満足度を追求する
徹底したサポート

5 初期投資を無駄にしない
アップグレード制度

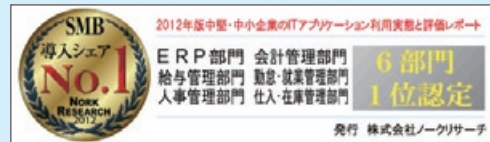
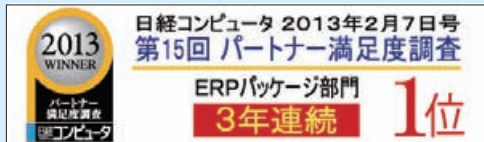
OBCの製品ラインナップ

中堅・中小・小規模の3つの企業層をカバー



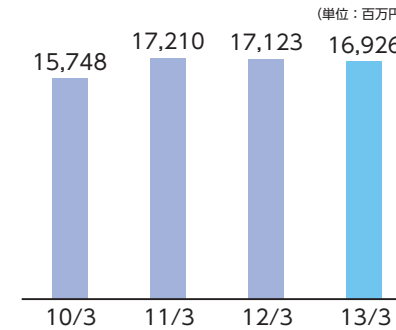
安心と実績の製品・サービス、信頼できる確かな技術で
お客様のニーズにお応えしてまいります。

導入シェアNo.1の奉行シリーズ
導入実績 **56万社** 突破
※平成25年3月現在

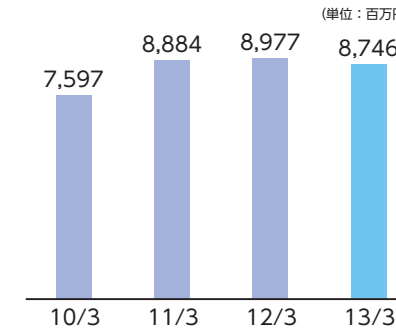


当期の業績ハイライト

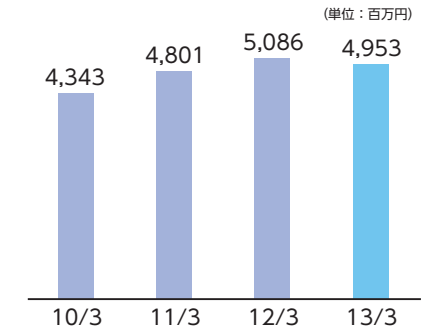
売上高 **169億26**百万円
(前期比 \downarrow 1.1%減)



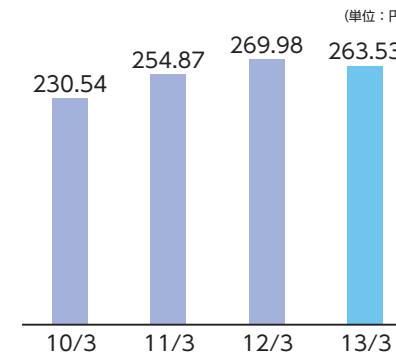
経常利益 **87億46**百万円
(前期比 \downarrow 2.6%減)



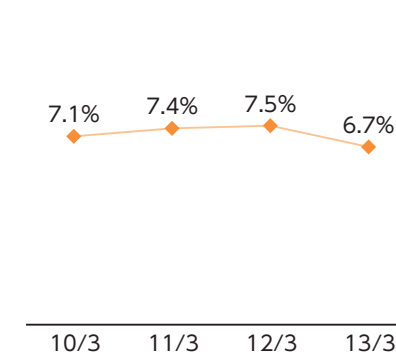
当期純利益 **49億53**百万円
(前期比 \downarrow 2.6%減)



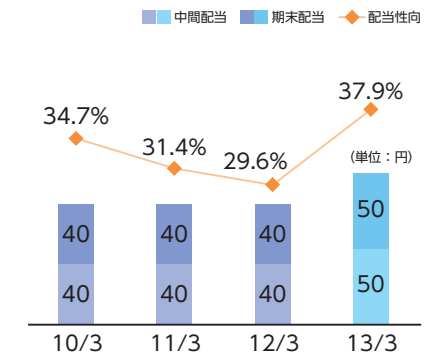
1株当たりの
当期純利益 **263.53**円



自己資本
当期純利益率 **6.7%**



中間/期末配当
配当性向





代表取締役社長

和田 成史

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り

誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

この度、第34期のご報告をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

当社では、目まぐるしく変化する企業環境やIT環境に敏感に対応し、

顧客企業にとって本当に役立つサービスをお届けしてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、

心よりお願い申し上げます。

当期の業績・概況について

当事業年度の日本経済は、昨年末の政権交代により、アベノミクスによる景気政策やそれに呼応した日銀による金融緩和などもあり、景気上昇への期待感は先行しているものの、未だ不透明な状況にあります。

こうした状況の中、当社では平成24年11月に発売されたWindows 8への対応ソフトをいち早く発売いたしました。企業の新OSへの乗り換えも思うほどには進展せず、注目するほどの売上には結びつきませんでした。

しかしながら、当社では、「顧客第一主義」を徹底し、お客様企業の経営課題の解決につながるきめ細やかなサポート提案を着実に行ってまいりました。

この結果、当期の業績は、法令の改訂や次世代の主力となる新製品の開発等、大きな動きがなかったものの、ほぼ当初の目標を達成することができました。

また当期は日本経済の停滞が続いていたため、当社では「この機会に原点に立ち返り、将来の成長のための布石を固める」というさまざまな土台固めの施策を、じっくりと実行できたこともご報告申し上げます。

当期における当社の取り組みといたしましては、「奉行体感フェア」の充実で顧客企業への自社製品のアピールとともに、丁寧に販売強化のセミナーを実施することができました。さらに、パートナー様との意識の統一を図り、販売・サポート体制の強化につきましても、着実に進めることができました。

当期を通じて申し上げますとすれば、当初の予想業績を確保しながらも、今後の成長に向けた製品開発や社内改革、さらなる成長戦略への布石をじっくりと打つことができた年度であったと捉えております。

来期の見通しについて

来期の見通しにつきましては、さまざまなプラス要因が予測されておりますので、さらなる業績の向上のために、より一層「時代に即した機敏な対応」を心がけ、社員一丸となって事業の推進を図ってまいります。

まず、来期に予定されている税制改革（消費税のアップ）へは、それに伴うアシスト体制の充実を滞りなく心がけてまいります。

次に、現時点で企業のほぼ半数が採用しているマイクロソフト社のWindows XPのOSサポート体制の終了（平成26年4月予定）に伴い、Windows 7やWindows 8へのバージョンアップ（有償）の需要や、これまでお使いいただいていた、さまざまな製品のバージョンアップの需要にもスムーズに対応してまいります。

また、仮想化技術として注目されております次世代のクラウドコンピューティングへの対応も、決して技術ありきではなく、あくまでも顧客の利便性を見据えた上での応用プランを鋭意開発・提供してまいります。

さらには、急速に進化しつつあるスマートフォンやタブレットへの、iOSやアンドロイドOSなどのテクノロジーの変化や消費者ニーズ、ビジネススタイルへの変化にも、当社が提供すべき利便性を踏まえたアイデアを提供することで、迅速に柔軟に対応してまいります。

当社は、これからも原点を忘れず、「顧客第一主義」の思いを貫き、企業の利便性を便利・低コストでサポートするとの思いを最優先に、企業に役立つさまざまな製品やサービスの開発・提供に努めてまいります。

OBCの理念、製品、そして、サービス。

当社では、創業以来の理念「顧客第一主義」を徹底し、お客様目線であることを大切に、お客様のご意見を反映しながら、より良い製品づくりとサービスの充実に努めております。

この結果「顧客満足度」、「パートナー満足度」、「導入シェア」などで高い評価をいただいておりますが、今後もお客様から一層信頼される企業を目指してまいります。

「顧客第一主義」の徹底追求

近年ますます多様化するお客様のニーズに対し、お客様の立場に立って考え、確かな技術でカタチにすること、そして、製品の開発・販売および保守・導入指導のほか、社員・パートナーの人材育成に至るまで、当社のすべては創業以来の「顧客第一主義」にあります。社会の変遷や技術の進歩に対応しながら、将来へ向けて、軸足は常にしっかりと「顧客第一主義」においてまいります。

理念を支える製品、そしてサービス体制

企業に必要な基幹業務システム「奉行シリーズ」は、中堅・中小企業にフォーカスしたもので、お客様の事業内容や規模に合った豊富な製品ラインナップに加え、使い勝手の良さや高いコストパフォーマンスを誇っています。

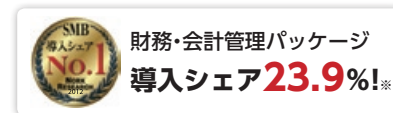
この製品の特長を活かすべく、きめ細やかなメンテナンスサービスやスクールなどの奉行支援サービスなど、常にお客様目線を心がけた万全の体制を目指しております。

理念に基づき、時代の変遷とお客様のニーズに対応しつづける「奉行シリーズ」

万全なお客様サポート体制

「奉行シリーズ」主要製品のご紹介

これまで多くの企業で主流であったWindows XPが、平成26年4月でサポート終了となります。当社では、平成24年秋に登場した最新OSのWindows 8に完全対応した製品を同年11月にいち早く投入しました。これにより、従来の操作性・機能性・拡張性はそのままに、さらなる業務の効率化と新しい情報の活用スタイルを実現してまいります。



*ノーフリサーチ「2012年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」

中規模・小規模企業向けモデル

会計業務の効率化はもちろん 会計データ活用までを実現する「財務会計システム」

財務会計システム「勘定奉行i8」は管理会計(マネジメント視点)に注目し、日常の会計業務だけでなく管理視点を実現できる成長性の高い財務会計パッケージシステムです。充実した機能と使いやすい操作性を備えた、会計ソフトのデファクトスタンダード。

コンセプト1

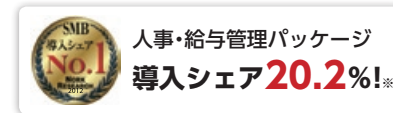
操作・処理機能の充実

コンセプト2

管理レベルの強化

コンセプト3

マネジメント視点の導入



*ノーフリサーチ「2012年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」

中規模・小規模企業向けモデル

迅速な法令対応で安心の給与計算をサポートする「給与計算システム」

給与計算システム「給与奉行i8」は、圧倒的な導入シェアを誇る給与奉行シリーズの最新モデルとして登場。迅速な法令対応とさらなる使いやすさを追求。永続的に安心してご利用いただける給与計算ソフトの決定版です。

コンセプト1

法令に準拠した機能を搭載

コンセプト2

管理業務を支援する機能の充実

コンセプト3

リスクマネジメントを実現する機能を搭載



万全のOBCお客様サポート体制

当社では、創業以来の「顧客第一主義」の観点から、製品の優秀性と同等にお客様へのサポート体制の充実に努めております。導入いただく際の丁寧な指導はもちろん、導入後のメンテナンスやアップグレードなども、常にお客様のご意見やニーズを踏まえ、最良の状態でご利用いただけるよう、お客様へのサポート体制を第一に考え実施しております。

OMSS OBCメンテナンスサービス

「奉行シリーズ」を安心かつ満足に利用し続けていただくためのサポートサービスです。法改正・制度改正への対応、最新の機能アッププログラムの提供をはじめとした、充実した保守サポートとサービスをご提供します。

安心

法改正・制度改正時に改正対応プログラムを迅速にお届けし、専任スタッフが丁寧にお問い合わせに対応させていただきます。サポートセンターをご用意しています。

満足

お客様の声を反映した機能アッププログラムを継続的に行っています。最新のプログラムのご提供で、使い続けていただくほどに、より満足度の高い運用を実現します。

サポートサービス

操作上の疑問点や不明点がある場合は、電話・FAX・Webにてお問い合わせしていただけるサポートセンターをご用意。会員専用回線で専任スタッフが丁寧にお問い合わせに対応します。



「奉行iメニュー」

奉行シリーズをご利用いただくお客様とOBCをつなぐ、双方向コミュニケーションサービス。「法改正・制度改正」の事前情報から、具体的なプログラム対応・提供時期・運用方法などのサポート情報をお届けします。改正プログラムはメニュー上からダウンロードが可能。お客様の奉行シリーズの利用状況にあわせた最適なサービスをお届けすることで、お客様に「満足」をご提供します。

主なOBC奉行支援サービス

実践スクール

初めてご利用いただくお客様から、より効率的な機能や操作の習得をご希望の方まで、お気軽に参加できる集合スタイルのスクール。定期開催しておりますので、ご都合に合わせて、いつでも学習可能です。



訪問指導サービス

導入と運用を支援する専任インストラクターが、お客様のオフィスにご訪問し、業務に合わせた操作・運用の教育を行います。丁寧な指導で、早期の運用開始に最適と、多くのお客様に選択いただいています。



オンライン講座

奉行シリーズをご利用のお客さまに対して開催されている、オンラインによる講座です。基本から応用までの各種スクールや社会保険講座をはじめ、年末や決算期など時期に応じたお役立ちセミナーなどが、インターネット上で受講できます。

NEWS & TOPICS

「奉行iシリーズ」と「奉行V ERP」が、Windows 8完全対応で、さらにパワーアップ！

平成24年11月にマイクロソフトの最新OS「Windows 8」に対応した「奉行i 8シリーズ」と「奉行V ERP8」を同時発売いたしました。

これらのシリーズは、従来のPC運用に加え、新しいWindowsのユーザーインターフェース、およびマルチタッチ操作に対応しており、Windows 8がもたらす革新的なワークスタイルを実現してまいります。

「奉行i 8シリーズ」

基幹業務システム
奉行i 8シリーズ

情報参照や活用が加速する、情報型ワークスタイルを実現。従来の機能性・操作性・拡張性をそのまま活かしながら、Windows 8がもたらす革新的なビジネスシーンを演出。より直感的なタッチ操作やタブレット端末などのへの対応で、誰もがさまざまな情報を活用できる「情報型ワークスタイル」を生み出します。

製品の特長

- Windows 8が提供するタッチ操作に対応
- タブレットなどの利用で基幹業務情報の活用を拡大
- 多くのWindowsで動くマルチOS対応
- 企業規模や業務内容の拡大に対応する拡張性
- 参照専用ライセンスで新たなワークスタイルを促進

「奉行V ERP 8」

戦略的統合基幹業務システム
奉行V ERP 8

中堅企業にフォーカスした、パッケージシステムのベストセラー。常に最新技術を採用するOBC基幹業務システムの最高峰として、最新OS Windows 8にもいち早く完全対応。強力な基本スペックに豊富なオプションを取り揃え、多彩な業種業務対応により、多くの企業に導入されているERPパッケージです。

製品の特長

- Windows 8が提供するタッチ操作に対応
- さまざまなシステムとデータ関係が可能な汎用性
- 将来のシステム拡張も容易
- グループ経営管理の充実化を支援
- 成長企業、上場(予定)企業に最適なシステム

パートナー向け「戦略発表会」で、販売・サポート体制をより強固に！

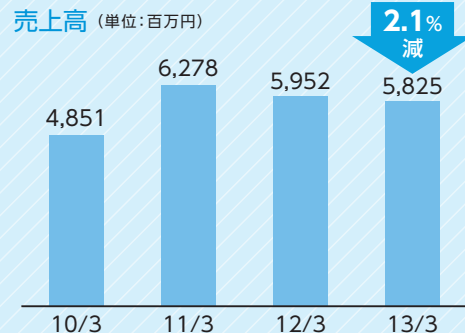
平成24年6月から7月にかけて、全国各地において販売パートナー向けの「OBC戦略発表会」を開催いたしました。平成25年も同時期の開催を予定しておりますが、本年の発表会では、Windows 8に対応した新製品「奉行i 8シリーズ」と「奉行V ERP 8」の販売・サポート体制の強化や、Windows 8の特性を利用した業務の提案などを行ってまいります。

当期の品目別の状況

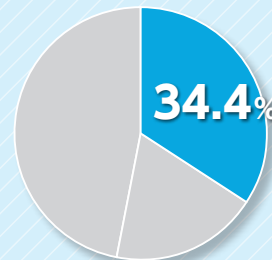
ソリューションテクノロジー (パッケージソフト)

当期の状況

ソリューションテクノロジー部門は、最新のOS (Windows8) にも対応する「奉行i8」「奉行V ERP8」を発売しましたが、当社の想定よりも売上が伸び悩みました。また、ネットワーク関連製品の新規売上等が減少しました。この結果、売上高は58億25百万円(前期比2.1%減)となりました。



売上高構成比



❖事業内容

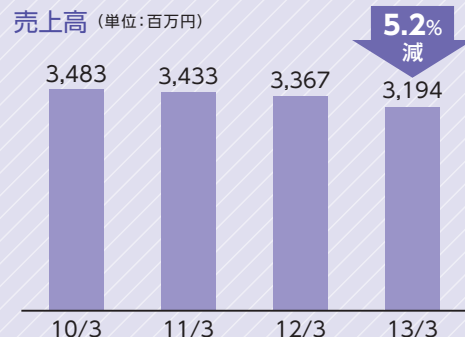
中堅・中小企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするパッケージソフトを提供。企業規模やニーズに合わせて豊富なラインナップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当部門の売上高に含まれます。当社のパッケージソフトは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

関連製品

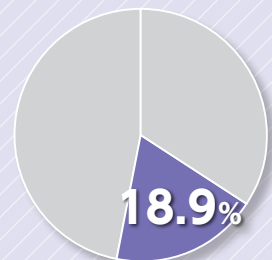
(奉行サプライ/他社ソリューション等)

当期の状況

関連製品部門はカスタマイズ売上のほか、サプライ製品および奉行連動ソリューション売上等が減少しました。この結果、売上高は31億94百万円(前期比5.2%減)となりました。



売上高構成比



❖事業内容

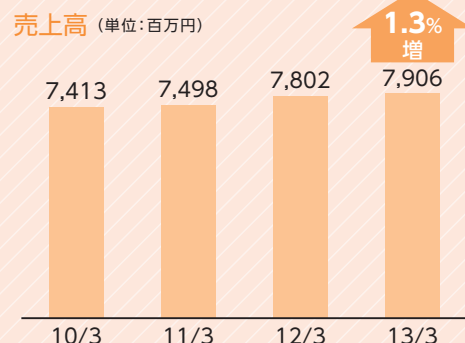
「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当部門の売上高に含まれています。

サービス

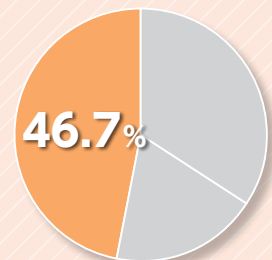
(ユーザーサポート)

当期の状況

サービス部門は、当期もサポート&サービスの品質向上、具体的には既存ユーザーへのサポート対応に関する社員教育や顧客管理システム環境の整備・充実を図り、サポート&サービスの重要性を再認識するとともに、顧客満足度の追求を続けてまいりました。この結果、売上高は前期比1.3%増加し、79億6百万円となりました。



売上高構成比



❖事業内容

システム導入後のユーザーサポートを目的とした「スクール」や「訪問指導」、「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」の提供など、お客様満足度の向上のための業務支援サービス事業を展開。お客様目線に立ったきめ細かなトータルサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

財務諸表

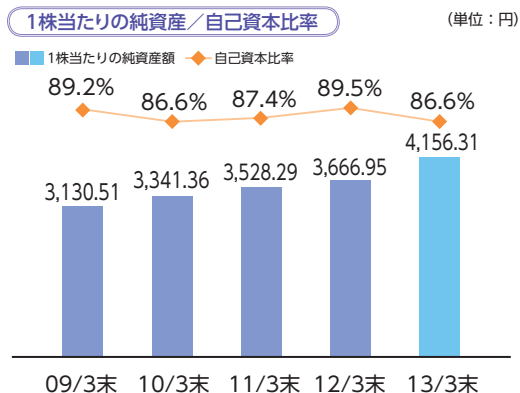
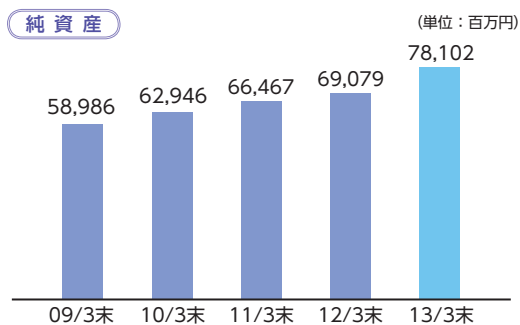
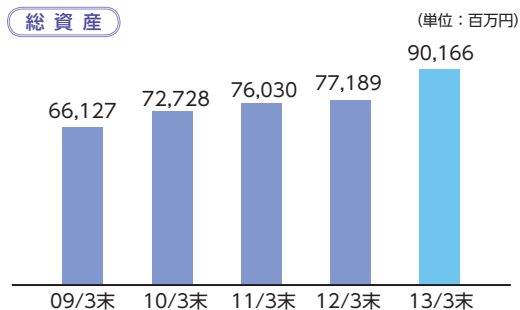
貸借対照表 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第33期末 平成24年3月31日現在	第34期末 平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	43,248,146	51,358,206
固定資産	33,941,535	38,808,584
有形固定資産	325,609	339,057
無形固定資産	233,715	285,797
投資その他の資産	33,382,210	38,183,728
資産合計	77,189,681	90,166,791

負債の部		
流動負債	7,245,053	9,034,747
固定負債	864,806	3,029,899
負債合計	8,109,859	12,064,647

純資産の部		
株主資本	67,421,503	70,502,925
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,949,268
利益剰余金	43,121,310	46,382,200
自己株式	△5,168,074	△5,347,542
評価・換算差額等	1,658,317	7,599,217
その他有価証券評価差額金	1,658,317	7,599,217
純資産合計	69,079,821	78,102,143
負債純資産合計	77,189,681	90,166,791



損益計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第33期 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	第34期 平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
売上高	17,123,402	16,926,642
売上原価	2,734,008	2,640,503
1 売上総利益	14,389,393	14,286,138
販売費及び一般管理費	6,573,666	6,946,896
2 営業利益	7,815,727	7,339,242
営業外収益	1,513,072	1,435,700
営業外費用	351,713	28,067
3 経常利益	8,977,086	8,746,876
特別利益	8,100	10,223
特別損失	30,183	662,636
税引前当期純利益	8,955,002	8,094,463
法人税、住民税及び事業税	2,772,666	3,693,027
法人税等調整額	1,096,259	△552,555
4 当期純利益	5,086,076	4,953,990

キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科目	第33期 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日	第34期 平成24年4月1日～ 平成25年3月31日
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	5,309,657	7,235,730
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,521,299	2,671,334
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,507,220	△1,872,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,301	18,333
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,320,435	8,052,836
現金及び現金同等物の期首残高	32,658,510	37,978,945
現金及び現金同等物の期末残高	37,978,945	46,031,782

CHECK POINT

- 1 売上総利益**
プロダクトのソリューションテクノロジー部門の売上減少が響き、減益となりました。
- 2 営業利益**
売上高の減少のほか、退職給付債務の割引率を見直したことなどによる販売費及び一般管理費の増加により、減益となりました。
- 3 経常利益**
営業外費用は減少しましたが、売上高の減少による影響で減益となりました。
- 4 当期純利益**
関係会社出資金評価損の計上による特別損失の増加により減少しました。

CHECK POINT

- 5 営業活動によるキャッシュ・フロー**
プラスとなった主な要因は、税引前当期純利益の計上額80億94百万円等によるものです。
- 6 投資活動によるキャッシュ・フロー**
投資有価証券の売却等による収入32億98百万円等により、プラスとなりました。
- 7 財務活動によるキャッシュ・フロー**
マイナス要因は、配当金の支払額16億93百万円、自己株式の取得による支出1億79百万円によるものです。

株式の状況

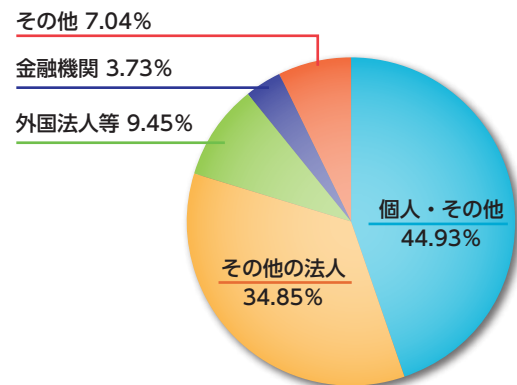
発行可能株式総数	80,704,000株
発行済株式の総数	20,176,000株
株主数	5,010名

大株主 (上位5名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	6,794	36.16
和田成史	5,778	30.75
和田弘子	1,308	6.46
CBNY-ORBIS SICAV	665	3.54
澤田和久	232	1.23

※持株比率は自己株式(1,384,787株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



企業プロフィール

会社概況	
商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	昭和55年12月12日
資本金	10,519,000千円
従業員数	613名

役員 (平成25年6月25日現在)

取締役会長	野田 順 弘
代表取締役社長	和田 成 史
専務取締役	和田 弘 子
常務取締役	中山 茂
取締役	大原 泉
取締役	木村 博
取締役	橋 昇 一
常勤監査役	黒 凶 成 一
監査役	高橋 郁 雄
監査役	加納 博 史

主要事業拠点

本社/東京支店	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-16-7 NORE伏見ビル7F

IRページが充実！ 当社IRサイトのご案内



財務ハイライト

<http://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>
四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。



決算のご報告

<http://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report.html>
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。



IRライブラリー

<http://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>
有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。

株主様アンケートがwebからも可能に

株主様アンケートがwebからも簡単に行っていただけるようになりました。お寄せいただいたご意見は、今後の会社運営の参考として大切に扱わせていただきます。ぜひご利用ください。

株主の皆様のお声を聞かせてください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4733

いいかぶ 検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先*)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先*)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
一単元の株式数	50株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

※ 平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が上記のとおり変更となっております。

■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株主様の口座がある証券会社へお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、左記の電話照会先をお願いいたします。

■ 上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降に当社がお支払いする配当金について、配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することとなりました(同封をしております「配当金計算書」が「支払通知書」を兼ねております)。なお、「支払通知書」は株主様が確定申告を行う際の添付資料としてご使用いただくことができます。

『復興特別所得税』に関するご案内

上場株式等の配当等に係る所得税に対し、**平成25年1月1日から平成49年12月31日まで**、復興特別所得税として**所得税額×2.1%**が追加課税されることとなります。

「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)」の施行に伴い、平成25年1月1日以降に支払われる上場株式等の配当等に係る所得税に対し、下記のとおり追加課税されることとなりますので、ご案内いたします。

※ 証券税制における軽減税率の適用終了による税率の変更です。

	平成24年12月31日まで	平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで	平成26年1月1日から 平成49年12月31日まで	平成50年1月1日から
所得税	7%	7%	15%*	15%
復興特別所得税	—	0.147%	0.315%	—
住民税	3%	3%	5%*	5%
合計	10%	10.147%	20.315%	20%

- ・源泉徴収が行われる場合の税率です。ただし、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
- ・本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。
- ・本ご案内は平成24年12月時点の情報をもとに作成しております。



株式
会社

オービックビジネスコンサルタント

<http://www.obc.co.jp/>